

令和7年度

地域とともにある学校づくり
保谷第一小学校 6年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
（活動名）

未来の自分へアップデート！！

ねらい：

身近な人へのインタビューを通して、「働く」とはどういうことなのか考え、
働くことの意義を理解する。

【4月～】

「働く」ってどういうこと？という投げかけから始まった学習。お金を得るために働く、生きがいを見つけるために働く…。「働く」目的について、何となくのイメージはもっている子どもたち。

そこで、様々な仕事を付箋に書き出し、1枚の模造紙に関連付けながらまとめてみました。「まだまだあるよ！」と無限に広がる職業マップ。自分たちが暮らす地域で働いている人に、実際に話を聞いてみたいという声が挙がっていました。



【6月28日】

5年生の時に「お米の学校」でお世話になった臼井先生。子どもたちから、「臼井先生にインタビューしたい！」とお名前が挙がり、貴重な機会を設けることができました。

農業のやりがいや、「お米の学校」を始めた経緯など、たくさん教えていただきました。また、子どもたちが聞きたかったことをインタビューする時間もありました。最後には未来に働く6年生へメッセージもいただきました。「みんなもお米も生き物も、命がつながっていることを忘れないでほしい」ということ。「であい、ふれあい、めぐりあい」の3つの愛を大切に、相手のことを受け入れていくこと。地域で活躍する臼井先生から、仕事のことにとどまらずたくさんのことを学びました。

【6月上旬】

まずは、子どもたちにとって一番身近な存在であるおうちの人に、仕事についてインタビューをしました。聞きたい項目をまとめ、いざインタビュー！

各学級でインタビューしてきたことを共有する時間を取りました。誇らしげな表情でおうちの人の仕事について話す様子がありました。

まとめ コラム

子どもたち自身がインタビューをしたり直接お話を聞いたりすることで、自己の将来像と重ね、自分事として「キャリア」を考えることができました。「働く」ということに、わくわくした気持ちが湧いた子も多いようです。

2学期は、本校卒業生である宮川紗枝さんにもインタビューをし、さらに「自分自身」に目を向ける学習も行っていく予定です。